

いざ! という時

詳しくは須恵町ホームページをご覧ください。

防災ハザードマップ 災害時の避難場所 AED設置場所



問い合わせ先：総務課 ☎ 932-1152

須恵町 NPO法人 コメリ災害対策センター

災害時における物資供給の協定を結んでいます。

災害発生 → 町が供給要請 → 物資の供給

円滑に進むよう、連絡体制の確立を図っています。

災害時 議員はどう動く?

多発する自然災害に備えるため、須恵町議会では「災害対策本部設置要綱」および「災害時行動マニュアル」により、災害発生時の対応や行動を定めています。(平成24年9月制定) 災害発生時、執行機関(町)は混乱した状況にあることが予想されるため、議会は状況に応じ、必要性を見極めて行動していくことが重要です。議会は、議決機関として、役割の範囲内で災害に対応します。

須恵町議会災害時行動マニュアル

風水害・地震発生

町が災害対策本部を設置

- 初動**
- 議長は副議長等と協議
 - 議会災害対策本部を設置
 - 議員および町に、議会災害対策本部設置を報告
- 初期**
- 特別会議室(役場4階)に参集
 - 現地における情報収集・支援活動への協力
- 中期**
- 町災害対策本部との情報交換・諸要請の実施
 - 被災者に対する助言・相談受付等
- 後期**
- 全員協議会を開催(被災状況掌握)
 - 町災害対策本部への協力
 - 被災地・避難所等の視察
 - 県、国等への要望活動
 - 必要により臨時議会の開催要請

8月1日(月) 防災施設を視察しました。

近年、地震や風雨による甚大な被害が近隣県を含め全国的に発生し、報道されています。そこで当町の備えについて特集し、有事の際に役立てていただけるよう皆様にお知らせします。

須恵町には3つの防災施設があります。また、現在、防災施設が整備されていない須恵川の右岸側に、中部防災



センターの建設が予定されています。

避難所は20施設が指定され、防災ハザードマップに記載されています。また、AEDは公共施設・教育施設など15カ所に設置されています。

防災施設は基本的に備蓄倉庫になっています(写真のとおり)、場所によっては一時避難場所や、小グループでの会議等に利用ができるようになっています。万全の備えとは言えませんが、徐々に充実してきています。

① 須恵町防災センター

所在地：大字須恵771番地
竣工：平成22年3月
総事業費：約3328万円
(全額国からの交付金)



主な備蓄品
毛布・タオル・マスク・非常食
(乾パン・ビスケット) など

本部分団格納庫を併設

内部が仕切られ、須恵町消防団本部分団の格納庫が併設されています。1階は土のうや機械等の備品、2階は毛布・食品・衣料品等が保管されているほか、会議室になっています。

須恵町の防災施設

② 東部地域防災センター

所在地：大字佐谷1181番地1
竣工：平成27年2月
総事業費：約2348万円



公共下水道化に伴い不要となった農業集落排水の処理施設を改築したものです。かまどセット(2基)や防災資材を備え、自主防災組織の会議にも使われています。



災害用かまどセット2基を常備



会議室

③ 防災倉庫

所在地：大字旅石170番地103
竣工：平成22年3月



備蓄品
土のう・マスク



飛越分団格納庫敷地内に設置

町の西側地区の備蓄拠点として、飛越分団格納庫敷地内に置かれたプレハブ倉庫です。現在は土のうとマスク程度の装備ですが、必要に応じて対応が行われます。

